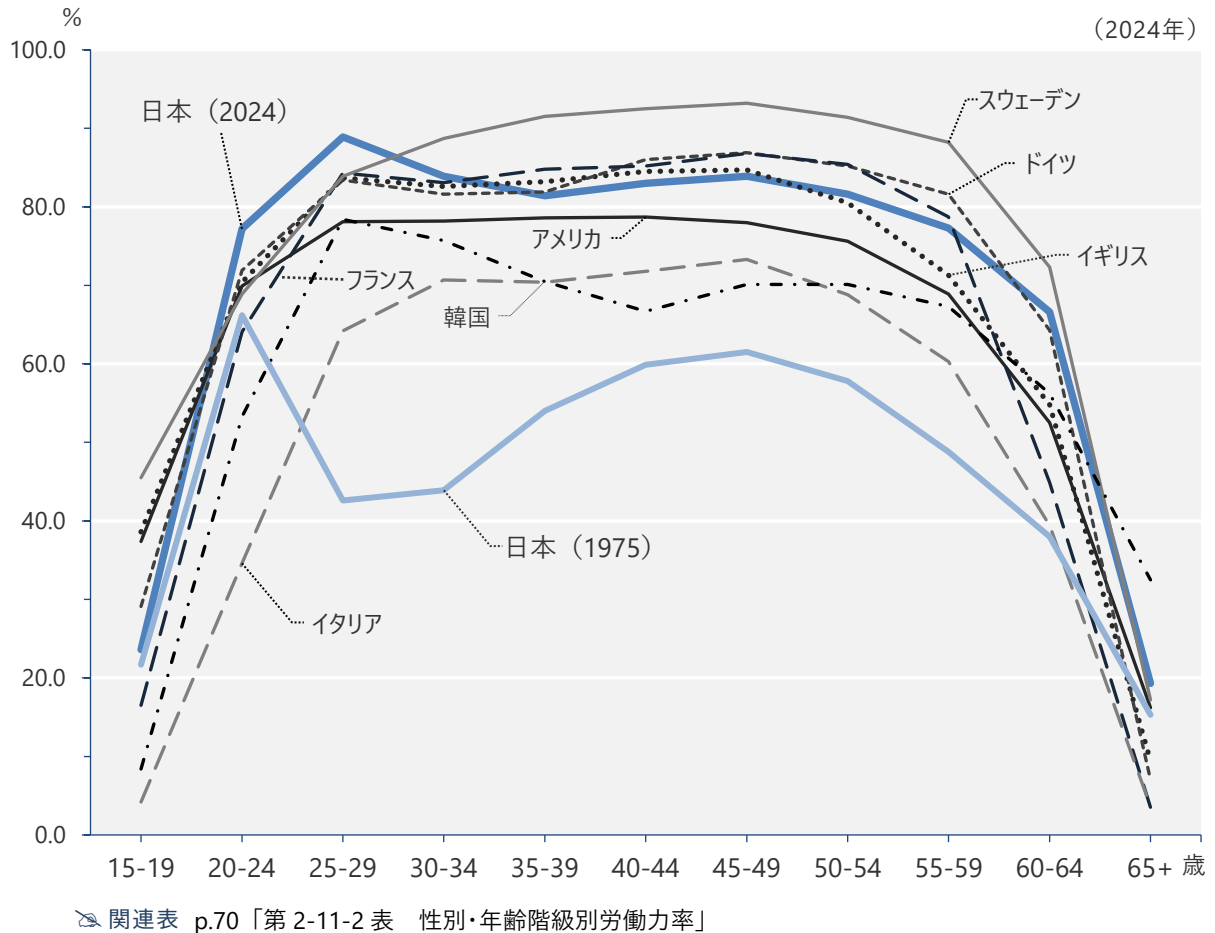


## 2-4 年齢階級別女性労働力率



女性の年齢階級別労働力率をみると、日本では以前は20歳代後半から30歳代にかけて比率が落ち込むいわゆるM字カーブ（結婚・出産・育児等のために労働市場からいったん退出し、その後育児が落ち着いた後に再び労働市場に復帰するという女性労働者の就労行動の特徴が反映）を描いていることが特徴的であったが、アメリカやヨーロッパと同様に今日ではほとんどみられなくなり、台形に近い型となっている。晩婚・非婚化の進行や共働きの増加などが要因であると思われる。特に25～29歳における労働力率の上昇が顕著であり、1975年に42.6%であったものが、2024年には88.9%に上昇している。それ以外の年齢階層の労働力率も全般的に上昇傾向にある。